

野球の日本代表選手たちこの一夜の事件も告白!?

女性アスリートたちの 恋愛、結婚、オリンピック

最近、なでしこJAPANの川澄奈穂美選手に同性の恋人発覚と噂されたり、オリンピックの元メダリスト有森裕子さんや田中雅美さんの離婚が発覚したりと、女性オリンピック選手の恋愛模様が何かと騒がしい。果たして、ストイックな生活を送る彼女たちの恋愛事情とは? 元ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子さんと、元同代表選手だった安藤美佐子さんに、今だから話せる恋バナを聞いちゃいました♥

アホンマ安田 | 文 奥山智明 | 写真

words by Ahonnu Yasuda, Photo Tomoaki Okuyama

元選手
に聞く
1



安藤美佐子
元ソフトボール日本代表

元ソフトボール日本代表監督
宇津木妙子



シドニー五輪で銀メダルを獲得したソフトボールの日本代表メンバーたち。宇津木監督には、選手たちから手作りの金メダルが贈られた。(写真/共同通信)

——宇津木さんは女子ソフトボールの日本代表監督として、銀メダルを獲得した2000年のシドニー五輪、それから4年後に銅メダルを獲得したアテネ五輪でもチームを牽引されました。そして、安藤さんはシドニー五輪出場選手のおひとりです。『世界のショートストッブ』という異名がつくほどの活躍ぶりを見せてくださいましたね。本日はそんなお2人に、『女性オリンピアン』の恋愛と結婚について語っていただければと思ってお

ります。

安藤美佐子 (以下、**安**) それについては監督を中心に聞いてください。私、結婚はおろか、お付き合いしている人もいないので(笑)。**宇津木 妙子** (以下、**宇**) 安藤をはじめ、シドニーのメンバーは、ほんとにしごいたんですよ。こんな言い方はよくないかもしれないけど、『ソフトボール界のために犠牲になつてもらった』と言つても過言ではないくらい。もちろん「日本のために」という気持ちもあり

ましたが、一番の動機は日本代表でソフトボールを認めてもらいたかったから。そうした思いをここの子たちにも背負わせて、結果的には銀メダルにまでつながったわけですが……それから12年たった今、計15人いたメンバーのうち結婚しているのは、ピッチャーの石川多映子とキャッチャーの山田美

葉、ショートの内藤恵美に、ファーストの伊藤良恵のたった4人だけ。その現状を踏まえると、ソフトボールだけじゃなく、『女性としての生き方』の指導もしておくべきだったって思うんです。私はシドニーの2年後にさっさと結婚してしまつたので、なおさら。**安** まあでも独身だからといって今の生活に不満があるわけではな

いんですよ。むしろ充実感がある。これでもし「ひとりだと寂しいな」という気持ちがあつたら、私も自然と恋愛や結婚に向けてアクションを起こしていくんだろうけど、現状は監督としての仕事でやることや考えることがたくさんあつて、それで充実感を得ているからか、そんなふうには「寂しい」って思うことがない。**宇** 基本的に監督つて、選手と試合のことしか頭にないからね。私も結婚しているとはいへ、主人のことをいつも一番に考えてるかつていいたら、そうじゃない。一番はソフトボールで、主人は3番目か4番目くらいだよ。**安** そんなはつきり言つたら、さすがに「主人が気の毒でしょ(笑)。ちなみに監督は、もともと結婚願望はあつたんですか?」

宇 あつたよ。昔の日本では「女性アスリート」結婚できなくて一生独身」というふうに見られていて、それが閉塞的に感じられて嫌だった。海外にはすでに結婚して子どももいて、なおかつスポーツも続けている女性アスリートはたくさんいたからね。だから「私はスポーツだけでなく、結婚も出産も全部クリアしたい」って気持ちがあつた。残念ながら、出産だけはクリアできなかったけど。**安** 私も意識的に結婚を避けてるわけじゃないんですけどね。ただ、それよりも最近……私も年を取つたつてことなんだろうね、選手たちがかわいくて仕方ないの。練習に向かう時も「あの子たちと遊べる!」って感覚で、練習中も楽しくしごける。あ、しごけるつていうと、なんか誤解されそうだけど(笑)。でも、練習でしんどい思いをしなければ試合で良い結果なんか出せるわけじゃないし、だからこそ、常日頃から全力でやる。つて精神を身につけてほしい。そういう気持ちがあるっていい。そう

宇 シドニーのメンバーはいまだにほとんど独身だけど、「ひとりで生きていく覚悟」はちゃんと持ってる。

そこはえらいと思うよ。実は結婚して子どももいるけど離婚を考えている子もいて、その子も「シングルマザーでも、子どもは立派に育てる」って言ってるし。そして、そういう子

に対して「仕事に忙しい時は、代わりに私が子どもの面倒を見てあげるよ」と申し出る子がいたり、助け合って、支え合っている関係性は今も変わらない。メンバー同士が固い絆で結ばれているんだなあって、はたから見ても感じる。

宇 なるほど。そういえば五輪では、毎回各国の選手が宿泊する「選手村」と呼ばれるような施設が作られますけど、そこで別種目の男性選手と出会い、恋に発展するケースもあるわけですね。谷亮子議員と夫でプロ野球選手の谷佳知氏のように。

安 あるみたいですけど、私たちには一切なかったですね。全員、勝負のことしか頭になかったの



08年の北京五輪後、ソフトボール選手たちは、また五輪で競技が復活することを願った。(写真/共同通信)

あ、でもスポーツドクターが「両者にとって気晴らしになれば」という気遣いで、松坂大輔選手とか野球の日本代表選手たちを宿舎に連れて来てくれたことはありました。あとで監督にめっちゃめちゃ怒られましたけど(笑)。

宇 宿舎に帰ったらこの子たちの部屋がやけに騒がしくて、「何してんだ?」と思ってマネージャーに電話して、そこで経緯を知ったんですよ。まあ確かに気晴らしになるだろうし、日本代表選手同士じゃないとわかり合えない話もあるだろうから、「ほどほどの時間になつたら帰らせてね」とだけ言って電話を切ったんです。そのやりとりをマネージャーから聞いた

ドクターが野球選手たちを一度帰らせたらいいんですけど、その後別のドクターがまた連れて来ちゃって。それでまず、ドクターたちを叱ったんですよ。

安 ドクターはよかれと思ってやったことなのに(笑)。私たちも決断していい話をしていただけではないんですけど、やっぱり女だらけのところに男の人が来たら、ちょっと色めき立つじゃないですか。しかも野球選手だし♥それでドンチャン騒ぎをしてしまつて、さらに次の日のカナダ戦で3ポイントを7回で追いつかれてしまひ……。

宇 あの時は怒ったね。試合後にわざとドクターがいる前で「昨日みたいな気持ちでやってるから、こんなことになるんだ。勝てたのは奇跡で、普通だったら負けるゲームだ」って。

安 ああもう思い出したくない(笑)。まあ単純に考えて、選手村とか試合会場での出会いは、個人競技の選手同士じゃないと成立しにくいと思います。団体競技だとしてもチームでの活動が中心になってくるので。あと、それによって「自分勝手な行動はチーム全体に影響するから慎重」という責任感が身につく半面、同時に「ひとりじゃ行動できない」という弱さも抱えてしまいがち。だから、選手としては器用なほうでも



宇津木 妙子(うつぎ・たえこ)

1953年、埼玉県生まれ。97年、ソフトボール日本代表監督に就任。チームを00年のシドニー五輪で銀メダル、04年のアテネ五輪で銅メダルへと導く。02年には、会社の後輩であった現・夫と結婚。現在は実業団ルネサス高崎のシニアアドバイザーを務める傍ら、東京国際大学ソフトボール部総監督、NPO法人ソフトボール・ドリームの理事長も務める。

「1番に考えているのはソフトボールのことで、主人のことなんて3番か4番目(笑)」

ひとりの人間としてはものすごく不器用な人って、団体競技にはわりと多いんですよ。私もそうだし。それがだと現役を退いて一般人になっても、恋愛をするのはなかなか難しいですね。でも、本格的にソフトボール選手になる以前たとえば高校時代に恋のひとつや2つくらい経験されたのでは?

宇 やっぱ女子校とか女子チームって、自然とそうやって「男役」と「女役」に分かれていくよね。恋愛にまでは至らなくても、そういう傾向は多少なりとも出てくる。そんなふうには支え合うなんて、正



安藤美佐子(あんどう・みさこ)

1971年、岐阜県生まれ。ソフトボール日本代表として、00年のシドニー五輪に出場した銀メダリスト。世界のショートと呼ばれ、チームを牽引したひとり。太陽誘電、松下電工、デンソーの実業団チームを経て、05年、湘南ベルマーレ女子ソフトボールチームの発足に参加。現在は監督も務めている。

「女だらけのところ、男の人が来たたら、色めき立つじやないですか。しかも野球選手！」

宇 直私からすると「弱いなあ」と感じるんだけど、でも「そうならないほうが珍しいのかもしれない」とも思う。そもそも人間って弱い生き物で、ぬくもりが欲しい時は誰だってあるから。

— 表沙汰になっていないだけで、中には性愛の対象が本当に女性の方、いわゆるレスビアンの子選手もいるんでしょうね。あと、性同一性障害の方も。現に海外では性転換して男性になった女性アスリートもいますし。

宇 中にはいるかもしれませんが、たまに性同一性障害で悩んでいる選手から手紙をもらうことがあった。

— 話してみるとみんないい子なの。いい子だからこそ、「親に言えない」とか悩んでしまうんだろうね。いつも「あんたは何も悪くないんだから、ちゃんと親には話さない」ということしか言えなくて、心苦しんだけど……。

— OOCに認めさせたい五輪に出れない悔しさ

— ちなみに宇津木さんは、28歳の若さでジュニア日本代表チームのコーチに就任した当時、「女が指導者になるなんて」などと叩かれたこともあったそうですが、現在はどうですか？

宇 今は女性の指導者なんて当たり前の時代になったので、さすがに叩かれることはなくなりましたけど、それでも会議に行つて周りを見渡してみると女性は私ひとりだけ、ということが多いですね。今も昔も、ずーっとひとり(笑)。

— そんな中で男性たちの会話を聞いてると、「男ってだらしがない」と思うことは正直あります。

安 それは私もあるな。飲み席になるといやらしいことしか言わない男の人とか。そういう人って、私にさえ言ってくるんですけど(笑)。でも、「社会ってこういうものなんだな」とも思う。実業団で選手だけを務めていた頃は、グラウンドの外のことをよく知らなかったから。

宇 でも、じゃあ女性のほうが優れているのかといたら、決してそうとは言えない。女性の社会進出がどんどん進んできたと同時に、女性の嫌な部分が目につくようになってきたのも事実。普段はかっこいいこと言っておきながら、いざという時になると途端に「女性の弱さ」をアピールして、男に頼ったり……。ソフトボール界にもいるからね、そういう方。

— ソフトボールに携わっている女性という、男性的でサバサバしている感じで、言いたいことははっきり言うようなイメージがある。

— たた、それは意外です。

安 もちろん、そういう女性はごく一部ですよ。全体的にはおっしゃる通り、物をズバズバ言う女性のほうが多いです(笑)。ただ、「ソフトボール選手ってがさつな人が多そう」と言われることもあるんですが、それはないかな。

宇 チーム内で整理整頓についてもきちっと教育されているから、決まってるではないよね。たぶん、みんな髪が短くて、真っ黒に日焼けしてグラウンドを駆け回っているところから、そんなイメージがついてちやつてるんだろうけど、実際はどうかわからないけど、なでしこジャパンの女子選手たちも同様な気がする。

— なでしこジャパンといえば、今年のロンドン五輪での金メダル候補ともいわれていますよね。一方、ソフトボールはIOC(国際オリンピック委員会)の決定によって、五輪種目から除外されてしまいました。今後、復活する見込みはあるのでしょうか？

宇 ソフトボールを五輪種目として復活させるには、IOCの賛成票を集めなければならぬんですよ。「2020年の五輪を東京に誘致しよう」と盛り上がってますけど、たとえ東京での開催が決まっても、賛成票を獲得できなければ復活はできない。現時点で追加候補になっている種目は

ソフトボールを含め8種目くらいあるので、状況は厳しいです。じゃあ、賛成票をより多く集めるために何が効果的かというと、投票権のあるIOC委員が多いヨーロッパ圏でソフトボールをメジャーにすること。つまり、ヨーロッパのソフトボール選手を強化して、活躍してもらわないとならないんです。

安 オランダの野球みたいな感じですよ。以前はあまり盛り上がりしていなかったけど、11年のワールドカップ「編註：IBAFワールドカップ。11年に廃止されたため、現在は実質、WBSCが野球の国際大会となっている」で代表チームが優勝したことで、今や国全体が野球フィーバーになっている。

宇 そう、それと同じように仕掛けて、まずは知ってもらうことから始めないと。もちろん、日本の普及活動も大事だし、五輪種目から外されたことで予算減額が懸念される今こそ、「どう先を見て、どう強化していくか」ということを考え直さないとダメ。予算が減ったからといって、強化の手を抜いてしまうと、五輪種目として復活した時に獲れるメダルも獲れなくなってしまうから。ただでさえソフトボールはメダルに近い種目なのに、もったいないですよ。あー、ロンドンに出られないのが悔しい！